

第7章 人生観関係

1 生き方について

(1) 自分の誇れるもの

Q45 [カード] あなた自身のことについてうかがいます。あなたは自分自身について誇れるものを持っていますか。この中からあてはまるものをいくつでも選んでください。(M・A)

- 1 明るさ
- 2 やさしさ
- 3 忍耐力, 努力家
- 4 慎しみ深い
- 5 賢さ, 頭の良さ
- 6 まじめ
- 7 正義感
- 8 決断力, 意志力
- 9 体力, 運動能力
- 10 容姿
- 11 その他
- 12 誇れるものはない
- 13 わからない・無回答

(注) 本問は前回の選択肢を変更した(後掲参照)。

自分自身について誇れるものとしては、「明るさ」(44.8%)が最も高く、以下「やさしさ」(34.5%)、「まじめ」(29.5%)、「忍耐力, 努力家」(26.9%)、「体力, 運動能力」(22.0%)などの順となる。男女別にみると、「明るさ」(男性37.9%, 女性52.1%)は男性より女性に、「やさしさ」(同37.9%, 30.8%)と「体力, 運動能力」(同28.1%, 15.5%)は女性より男性に、それぞれ高くなっている。

前回調査と比較すると、「やさしさ」(40.1% → 34.5%)が減った。

各国比較でみると、韓国は日本と同様に「明るさ」が1位であるが、アメリカ、スウェーデン、ドイツでは「やさしさ」が1位である。日本で上位に挙がっていないが他国で上位に挙がった項目をみると、「正義感」がスウェーデンとドイツで、「決断力, 意志力」がアメリカとドイツで、「賢さ, 頭の良さ」がアメリカで上位に挙がっている。(表7-1)

表7 - 1 自分の誇れるもの(各国比較)

順位 国名	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
日本	明るさ 44.8	やさしさ 34.5	まじめ 29.5	忍耐力、努力家 26.9	体力、運動能力 22.0
韓国	明るさ 50.9	やさしさ 45.5	まじめ 44.3	忍耐力、努力家 29.5	体力、運動能力 23.8
アメリカ	やさしさ 79.6	賢さ、頭の良さ 70.0	明るさ 65.6	決断力、意志力 61.1	忍耐力、努力家 53.5
スウェーデン	やさしさ 81.4	明るさ 58.7	正義感 56.9	まじめ 47.2	忍耐力、努力家 45.1
ドイツ	やさしさ 71.3	正義感 63.2	明るさ 52.4	忍耐力、努力家 47.6	決断力、意志力 34.3

(2) 自分らしさを貫くこと

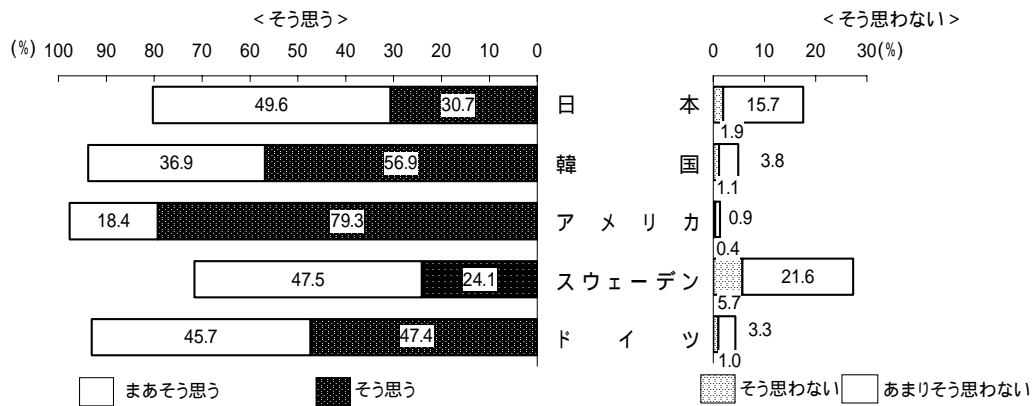
<p>Q46 [カード] あなたは、どんな場面でも自分らしさを貫くことが大切だと思いますか。</p> <p>1 そう思う</p> <p>2 まあそう思う</p> <p>3 あまりそう思わない</p> <p>4 そう思わない</p> <p>5 わからない・無回答</p>
--

(注) 本問は今回新規に設定した質問である。

どんな場面でも自分らしさを貫くことが大切だと思うかきいたところ、「そう思う」(30.7%)と「まあそう思う」(49.6%)を合わせた『そう思う』は80.3%で、「あまりそう思わない」(15.7%)と「そう思わない」(1.9%)を合わせた『そう思わない』の17.7%を大きく上回る。男女別にみても差はみられない。

各国比較でみると、『そう思う』はアメリカ(97.7%)で最も高く、以下韓国、ドイツ、日本の順となり、スウェーデンが最も低い。(図7 - 1)

図7 - 1 自分らしさを貫くこと(各国比較)



(3) 自分がわからなくなること

Q47 [カード] あなたは、自分がどんな人間かわからなくなることがありますか。

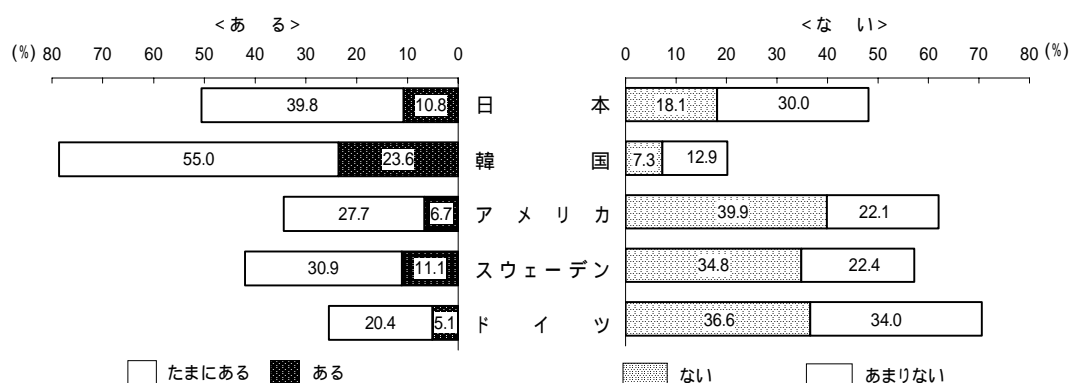
- 1 ある
- 2 たまにある
- 3 あまりない
- 4 ない
- 5 わからない・無回答

(注) 本問は今回新規に設定した質問である。

自分がどんな人間かわからなくなることがあるか聞いたところ、「ある」(10.8%)と「たまにある」(39.8%)を合わせた『ある』は50.7%で、「あまりない」(30.0%)と「ない」(18.1%)を合わせた『ない』は48.2%で、ほぼ同数となった。男女別にみても差はみられない。

各国比較でみると、『ある』は韓国(78.6%)で最も高く、次いで日本が半数であるのに対して、スウェーデン、アメリカ、ドイツはいずれも半数以下である。(図7 - 2)

図7 - 2 自分がわからなくなること(各国比較)



(4) 宗教観

Q48 [カード] あなたは、人生にとって宗教はどの程度大切なものだと思いますか。

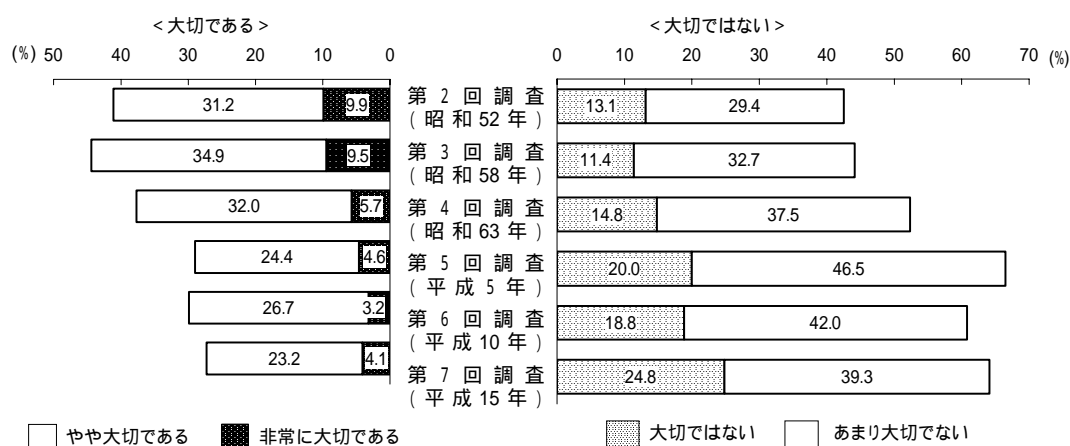
- 1 非常に大切である
- 2 やや大切である
- 3 あまり大切でない
- 4 大切ではない
- 5 わからない・無回答

(注) 本問はカード使用に変更した(後掲参照)。

自分の人生にとって宗教が「非常に大切である」(4.1%)と「やや大切である」(23.2%)を合わせた『大切である』は27.4%で、「あまり大切でない」(39.3%)と「大切ではない」(24.8%)を合わせた『大切ではない』(64.0%)が大きく上回る。男女別にみると、『大切である』(男性23.6%、女性31.2%)は男性より女性に高い。

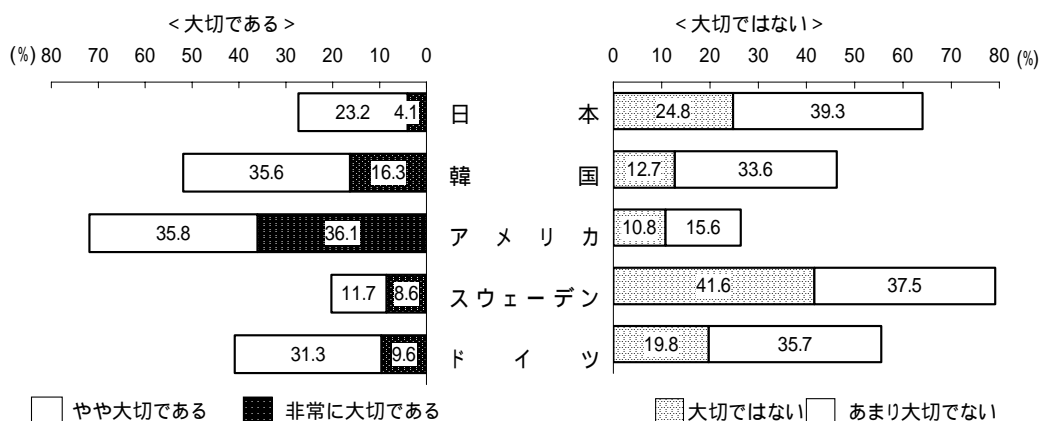
前回調査と比べても大きな差はみられない。経年比較でみると、概ね『大切である』が減り、『大切ではない』が増える傾向がみられる。(図7-3)

図7 - 3 宗教観(経年比較:日本)



各国比較でみると、宗教が『大切である』はアメリカ(72.0%)で最も高く、韓国がほぼ半数であるのに対して、ドイツ、日本、スウェーデンはいずれも半数以下である。(図7 - 4)

図7 - 4 宗教観(各国比較)



(5) 充実感

Q49 [カード] あなたは、どんなときに充実していると感じますか。この中からあてはまるものを、いくつでも選んでください。(M . A .)

- 1 社会のために役立つことをしているとき
- 2 仕事に打ち込んでいるとき
- 3 勉強に打ち込んでいるとき
- 4 スポーツや趣味に打ち込んでいるとき
- 5 家族といるとき
- 6 友人や仲間といるとき
- 7 親しい異性といるとき
- 8 他人にわずらわされず、一人でいるとき
- 9 充実していると感じるときはない
- 10 わからない・無回答

(注) 本問は第4回まで「生きがい」について質問していた。

どんなときに充実していると感じるかをきいたところ、「友人や仲間といるとき」(72.5%)が最も高く、以下「スポーツや趣味に打ち込んでいるとき」(50.9%)、「仕事に打ち込んでいるとき」(30.6%)、「親しい異性といるとき」(27.9%)、「家族といるとき」(27.4%)などの順である。男女別にみると、「友人や仲間といるとき」(男性67.5%、女性77.6%)と「家族といるとき」(同16.5%、38.7%)は男性より女性に、「スポーツや趣味に打ち込んでいるとき」(同57.0%、44.4%)は女性より男性に、それぞれ高い。

前回調査と比べても変化はみられない。経年比較でみると、第6回調査で加わった「親しい異性といるとき」が4位にきていることを除くと、大きな変化はみられない。

(図7-5)

各国比較でみると、韓国、スウェーデン、ドイツでは、日本と同様に「友人や仲間といるとき」が1位であるが、アメリカでは「家族といるとき」が1位である。日本で上位に挙がっていないが他国で上位に挙がった項目をみると、「勉強に打ち込んでいるとき」が韓国で、「社会のために役立つことをしているとき」がアメリカで、「他人にわずらわされず、一人でいるとき」がスウェーデンで上位に挙がっている。(表7-2)

図7 - 5 充実感(生きがい)を感じる時(経年比較:日本)

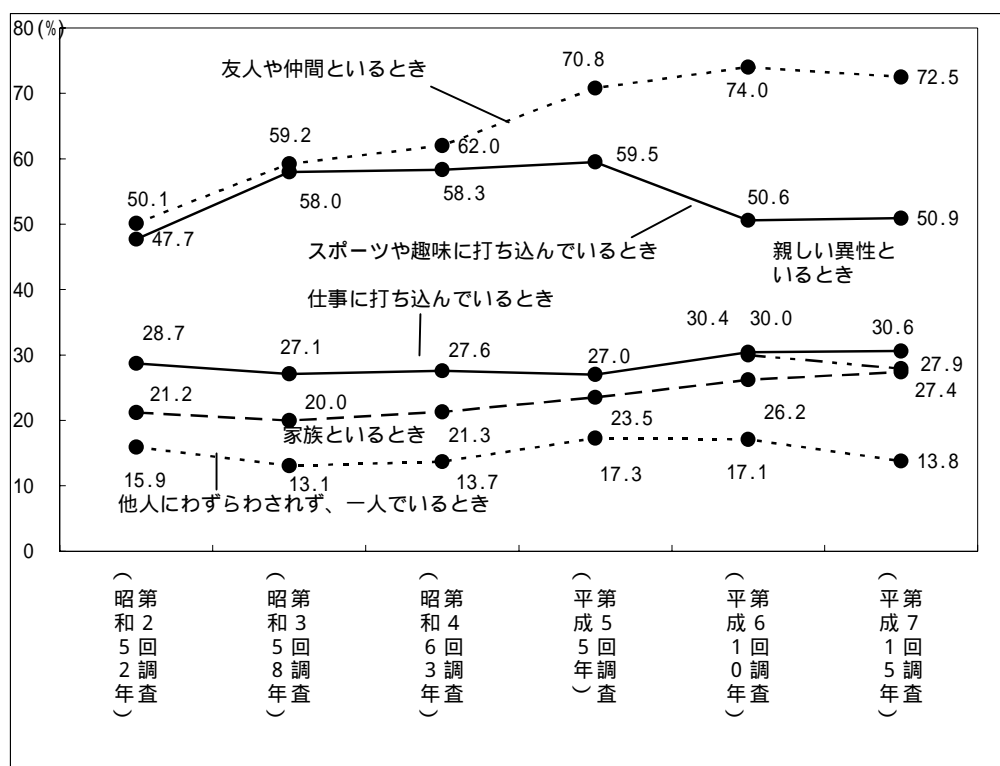


表7 - 2 充実感を感じる時(各国比較)

順位	1位	2位	3位	4位	5位
日本	友人や仲間といるとき 72.5	スポーツや趣味に打ち込んでいるとき 50.9	仕事に打ち込んでいるとき 30.6	親しい異性といるとき 27.9	家族といるとき 27.4
韓国	友人や仲間といるとき 52.7	仕事に打ち込んでいるとき 43.2	スポーツや趣味に打ち込んでいるとき 32.6	勉強に打ち込んでいるとき 31.3	家族といるとき 28.1
アメリカ	家族といるとき 74.1	友人や仲間といるとき 71.3	社会のために役立つことをしているとき 44.6	仕事に打ち込んでいるとき 43.4	親しい異性といるとき 41.0
スウェーデン	友人や仲間といるとき 84.5	家族といるとき 63.2	親しい異性といるとき 55.5	スポーツや趣味に打ち込んでいるとき 48.6	他人にわずらわされず、一人にいるとき 42.2
ドイツ	友人や仲間といるとき 70.2	親しい異性といるとき 42.0	家族といるとき 41.4	スポーツや趣味に打ち込んでいるとき 36.9	仕事に打ち込んでいるとき 36.4

(6) 幸福感

Q55 [カード] いろいろ考えてみて、あなたは幸せですか。

- 1 幸せだ
- 2 どちらかといえば幸せだ
- 3 どちらかといえば幸せでない
- 4 幸せでない
- 5 わからない・無回答

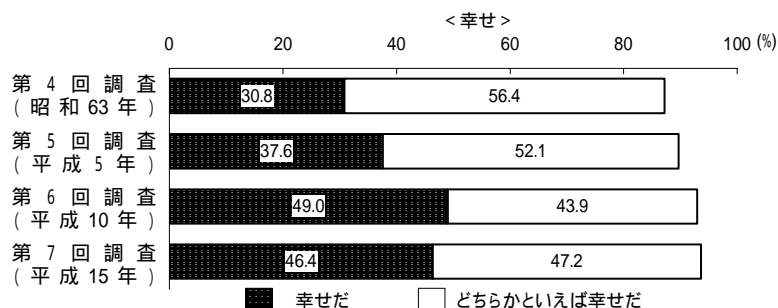
(注) 本問は前回までの質問文・選択肢を変更した(後掲参照)

幸せかどうかをきいたところ、「幸せだ」(46.4%)と「どちらかといえば幸せだ」(47.2%)を合わせた『幸せ』は93.6%である。男女別にみると、『幸せ』(男性91.4%,女性95.9%)は男性より女性に高い。

前回調査と比べても変化はみられない。経年比較でみると、『幸せ』は微増している。

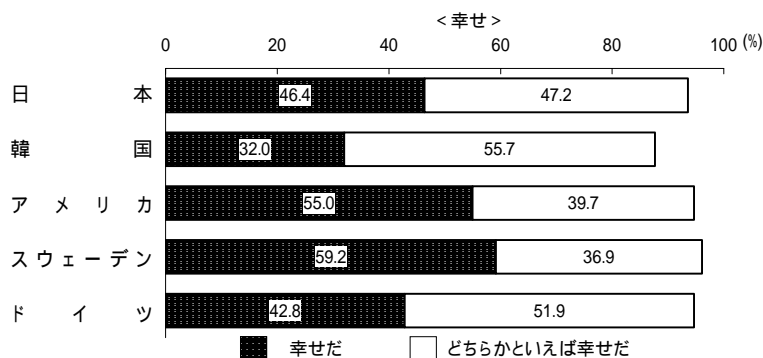
(図7-6)

図7-6 幸福感(経年比較:日本)



各国比較でみると、『幸せ』はスウェーデン(96.1%)で最も高く、以下アメリカ、ドイツ、日本、韓国の順となる。(図7-7)

図7-7 幸福感(各国比較)



2 悩みや心配ごと

(1) 悩みや心配ごとの有無

Q50 [カード] 現在、あなたは悩みや心配ごとを持っていますか。持っている場合には、この中からあてはまるものを、いくつでも選んでください。(M・A・)

- 1 勉強のこと
- 2 進学のこと
- 3 就職のこと
- 4 仕事のこと
- 5 家族のこと
- 6 友人や仲間のこと
- 7 異性との交際のこと
- 8 お金のこと
- 9 政治や社会のこと
- 10 性格のこと
- 11 健康のこと
- 12 容姿のこと
- 13 その他()
- 14 悩みや心配ごとはない
- 15 わからない・無回答

現在の悩みや心配ごととしては、「就職のこと」(33.9%)が最も高く、以下「お金のこと」(31.0%)、「仕事のこと」(27.4%)、「健康のこと」(13.9%)、「勉強のこと」(13.0%)などの順となる。一方、「悩みや心配ごとはない」は20.5%である。男女別にみると、「勉強のこと」(男性16.5%、女性9.2%)は女性より男性が高い。

前回調査と比べると、「就職のこと」(26.8% 33.9%)、「勉強のこと」(9.9% 13.0%)が増え、「悩みや心配ごとはない」(28.2% 20.5%)が減っている。経年比較でみると、「就職のこと」が順位を上げてきていることがわかる。(表7-3)

各国比較でみると、日本で1位の「就職のこと」は韓国でも1位に挙がったが、アメリカ、スウェーデン、ドイツは「お金のこと」が1位に挙がった。日本で上位に挙がっていないが他国で上位に挙がった項目をみると、「政治や社会のこと」がアメリカ、スウェーデン、ドイツで、「異性との交際のこと」が韓国とドイツで、「進学のこと」が韓国とスウェーデンで上位に挙がっている。また、「悩みや心配ごとはない」はドイツ(41.8%)と日本(20.5%)で高い。(表7-4)

表7 - 3 悩みや心配ごと(経年比較:日本)

(%)

調査回 \ 順位	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	
第2回調査 (昭和52年)	仕事のこと 23.8	お金のこと 23.5	異性との交際 のこと 17.9	性格のこと 17.5	就職のこと 16.2	悩みや心配 ごとはない 17.6
第3回調査 (昭和58年)	仕事のこと 29.2	お金のこと 28.3	就職のこと 22.0	健康のこと 21.1	性格のこと 19.5	悩みや心配 ごとはない 13.4
第4回調査 (昭和63年)	お金のこと 35.0	仕事のこと 32.3	就職のこと 25.5	異性との交際 のこと 24.0	健康のこと 21.0	悩みや心配 ごとはない 12.8
第5回調査 (平成5年)	お金のこと 34.9	仕事のこと 26.8	就職のこと 21.5	異性との交際 のこと 18.8	健康のこと 16.6	悩みや心配 ごとはない 20.9
第6回調査 (平成10年)	お金のこと 28.6	就職のこと 26.8	仕事のこと 24.9	健康のこと 11.4	家族のこと 11.2	悩みや心配 ごとはない 28.2
第7回調査 (平成15年)	就職のこと 33.9	お金のこと 31.0	仕事のこと 27.4	健康のこと 13.9	勉強のこと 13.0	悩みや心配 ごとはない 20.5

表7 - 4 悩みや心配ごと(各国比較)

(%)

国名 \ 順位	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	
日本	就職のこと 33.9	お金のこと 31.0	仕事のこと 27.4	健康のこと 13.9	勉強のこと 13.0	悩みや心配 ごとはない 20.5
韓国	就職のこと 45.1	お金のこと 40.6	勉強のこと 33.9	進学のこと 28.3	異性との交際 のこと 17.6	悩みや心配 ごとはない 6.4
アメリカ	お金のこと 55.5	政治や社会の こと 33.0	勉強のこと 31.0	仕事のこと 27.6	就職のこと 27.3	悩みや心配 ごとはない 8.5
スウェーデン	お金のこと 49.7	就職のこと 31.5	勉強のこと 31.4	政治や社会の こと 20.5	進学のこと 17.0	悩みや心配 ごとはない 14.9
ドイツ	お金のこと 29.9	就職のこと 11.6	政治や社会の こと 9.5	異性との交際 のこと 8.4	勉強のこと 7.6	悩みや心配 ごとはない 41.8

(2) 悩みや心配ごとの相談相手

- Q51 [カード] あなたは、悩みや心配ごとがあった場合、だれに相談しますか。
この中からあてはまるものを、いくつでも選んでください。(M . A .)
- 1 父
 - 2 母
 - 3 きょうだい
 - 4 祖父母・親類
 - 5 妻または夫
 - 6 先生
 - 7 近所や学校の友だち
 - 8 職場の同僚
 - 9 団体・グループなどの仲間
 - 10 学校の先輩
 - 11 職場の上役や先輩
 - 12 恋人
 - 13 カウンセラー，相談員
 - 14 宗教関係者
 - 15 その他 ()
 - 16 だれとも相談しない
 - 17 わからない・無回答

悩みや心配ごとの相談相手としては、「近所や学校の友だち」(59.5%)が最も高く、以下「母」(43.6%)、「恋人」(21.8%)、「父」(20.3%)、「きょうだい」(18.2%)などの順となる。男女別にみると、「近所や学校の友だち」(男性 55.5%、女性 63.7%)、「母」(同 35.6%、51.9%)、「きょうだい」(同 13.5%、23.2%)は男性より女性に、「父」(同 26.5%、13.9%)は女性より男性に、それぞれ高くなっている。

前回調査と比べると、「近所や学校の友だち」(52.4% → 59.5%)が増えている。経年比較でみると、上位2項目の変化はみられない。(表7 - 5)

各国比較でみると、韓国では「近所や学校の友だち」が日本と同様に1位であるが、アメリカ、スウェーデン、ドイツでは「母」が1位に挙がっている。日本で上位5位に挙がった項目は、いずれの国においても上位に挙がっている。(表7 - 6)

表7 - 5 悩みや心配ごとの相談相手(経年比較:日本)

(%)

調査回	順位	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
第2回調査 (昭和52年)		母	近所や学校の友 だち	父	職場の同僚	きょうだい
		43.8	38.7	26.5	18.6	18.4
第3回調査 (昭和58年)		近所や学校の友 だち	母	職場の同僚	父	きょうだい
		48.9	35.7	17.9	17.8	15.4
第4回調査 (昭和63年)		近所や学校の友 だち	母	職場の同僚	きょうだい	父
		48.2	35.7	19.2	18.9	17.4
第5回調査 (平成5年)		近所や学校の友 だち	母	恋人	父	きょうだい
		51.9	37.7	21.1	18.8	17.7
第6回調査 (平成10年)		近所や学校の友 だち	母	父	恋人	きょうだい
		52.4	45.9	21.9	20.9	19.3
第7回調査 (平成15年)		近所や学校の友 だち	母	恋人	父	きょうだい
		59.5	43.6	21.8	20.3	18.2

表7 - 6 悩みや心配ごとの相談相手(各国比較)

(%)

国名	順位	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
日本		近所や学校の友 だち	母	恋人	父	きょうだい
		59.5	43.6	21.8	20.3	18.2
韓国		近所や学校の友 だち	母	きょうだい	恋人	父
		65.1	34.0	21.6	16.9	16.1
アメリカ		母	父	恋人	近所や学校の友 だち	きょうだい
		57.9	34.4	32.6	32.2	30.5
スウェーデン		母	近所や学校の友 だち	きょうだい	恋人	父
		60.3	52.3	38.9	36.8	35.3
ドイツ		母	父	恋人	近所や学校の友 だち	きょうだい
		63.4	40.4	30.6	29.1	21.2

3 男女関係

(1) 男女の役割観

Q52 次のような意見にあなたは賛成ですか、反対ですか。

(調査員注：a, bを読み上げて聞く)

a 「男は外で働き，女は家庭を守るべきだ。」

b 「子どもが小さいときは，子どもの世話をするのは，母親でなければならない。」

- 1 賛成する
- 2 反対する
- 3 わからない・無回答

(注) 本問bは今回新規に設定した質問である。

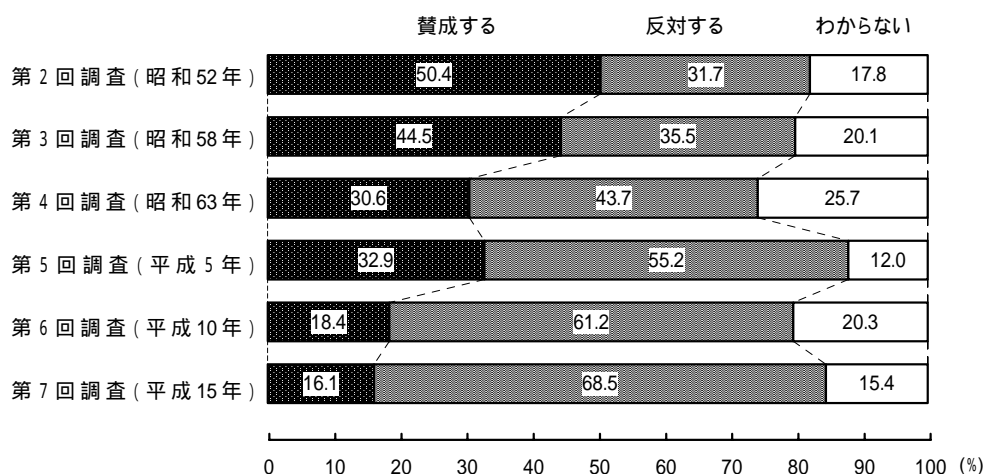
男女の役割観について2項目をきいた。

“男は外で働き，女は家庭を守るべきだ”という意見について、「賛成する」の16.1%に対して、「反対する」が68.5%である。男女別にみると、「賛成する」(男性20.3%，女性11.8%)は女性より男性に、「反対する」(同61.5%，75.8%)は男性より女性に高い。

前回調査と比べると、「反対する」(61.2% 68.5%)が増えている。経年比較でみると、「賛成する」が概ね減り、「反対する」は一貫して増えている。(図7-8)

図7-8 男女の役割観(経年比較:日本)

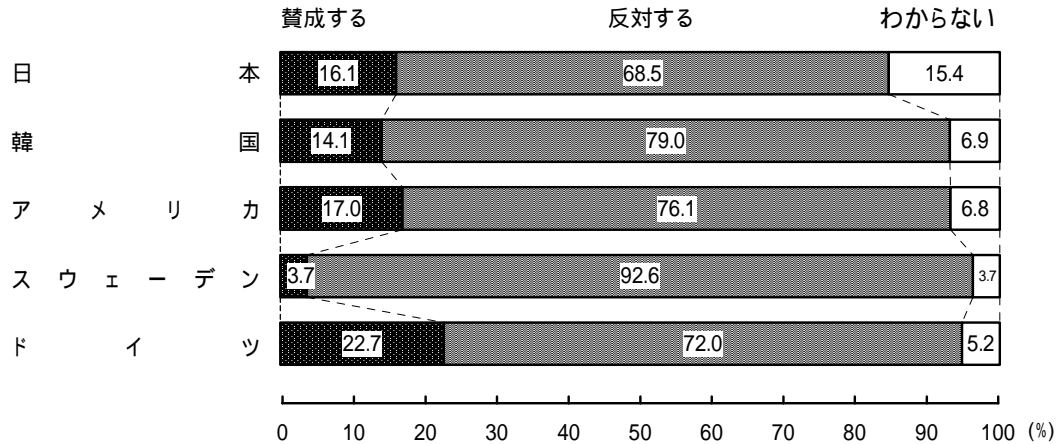
a 「男は外で働き，女は家庭を守る」



各国比較でみると、「反対する」はスウェーデン（92.6%）で最も高く，以下韓国，アメリカ，ドイツ，日本の順となる。（図7 - 9）

図7 - 9 男女の役割観(各国比較)

a 「男は外で働き，女は家庭を守る」

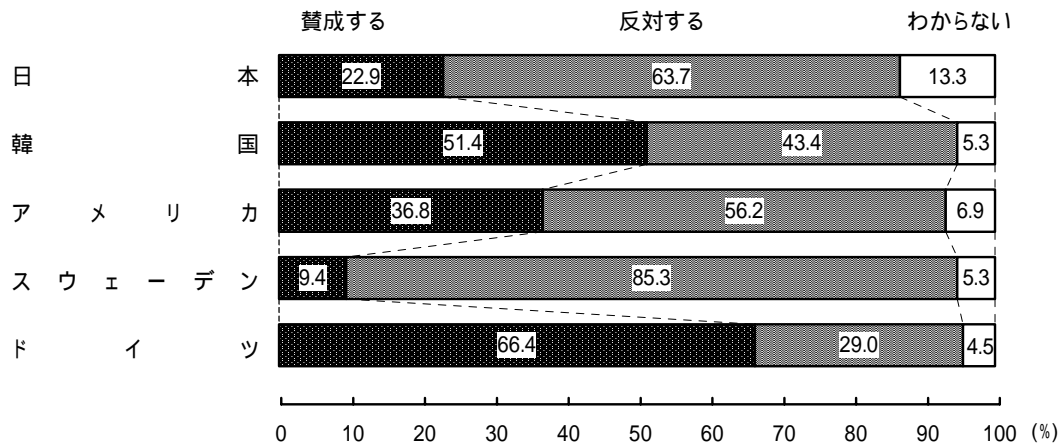


“子どもが小さいときは，子どもの世話をするのは，母親でなければならない”という意見について，「賛成する」の22.9%に対して，「反対する」が63.7%である。男女別にみても差はみられない。

各国比較でみると，ドイツと韓国では「賛成する」が「反対する」を上回る。スウェーデン，日本，アメリカでは「反対する」が「賛成する」を上回り，とくにスウェーデン（85.3%）で極めて高い。（図7 - 10）

図7 - 10 男女の役割観(各国比較)

b 「子どもの世話をするのは母親」



(2) 結婚観

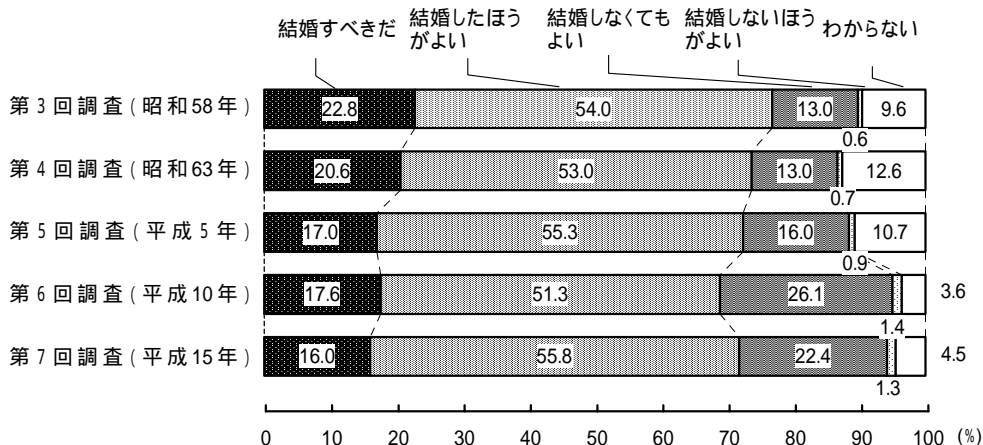
Q53 [カード] あなたは、結婚についてどうお考えですか。この中から、あなたの考えに近いものを、1つだけ選んでください。

- 1 結婚すべきだ
- 2 結婚したほうがよい
- 3 結婚しなくてもよい
- 4 結婚しないほうがよい
- 5 わからない・無回答

結婚についての考え方をきいたところ、「結婚すべきだ」(16.0%)と「結婚したほうがよい」(55.8%)を合わせた『積極派』は71.8%である。これに対して「結婚しなくてもよい」(22.4%)と「結婚しないほうがよい」(1.3%)を合わせた『消極派』は23.7%である。男女別にみると、『積極派』(男性77.5%、女性65.9%)は女性より男性に高く、『消極派』(同17.8%、29.9%)は男性より女性に高い。

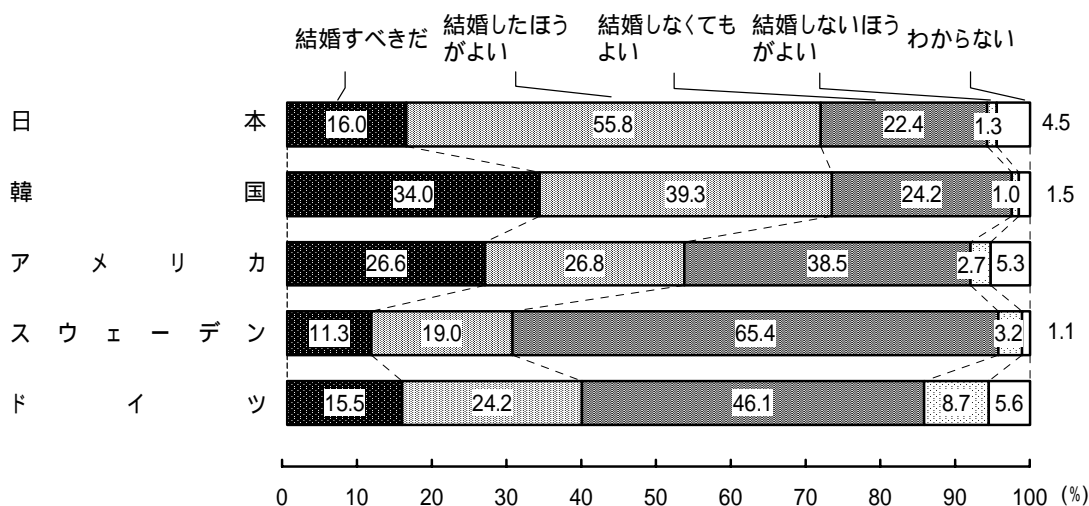
経年比較でみると、第6回調査までは『消極派』が増加しているが、今回調査ではやや減少(27.5% 23.7%)した。(図7-11)

図7-11 結婚観(経年比較:日本)



各国比較でみると、『積極派』は韓国，日本で高く7割を超えている。次いでアメリカも『積極派』が『消極派』を若干上回る。スウェーデンとドイツは『消極派』が5割以上である。(図7-12)

図7-12 結婚観(各国比較)



(3) 離婚観

Q54 [カード] あなたは，離婚についてどうお考えですか。この中からあなたの考えに近いものを，1つだけ選んでください。

- 1 いったん結婚したら，いかなる理由があっても離婚すべきではない
- 2 子どもがいれば離婚すべきではないが，いなければ，事情によってはやむをえない
- 3 子どもの有無にかかわらず，事情によっては離婚もやむをえない
- 4 互いに愛情がなくなれば，離婚すべきである
- 5 わからない・無回答

離婚については，「いったん結婚したら，いかなる理由があっても離婚すべきではない」(8.1%)と，「互いに愛情がなくなれば，離婚すべきである」(10.3%)という両極の意見は1割前後である。「子どもがいれば離婚すべきではないが，いなければ，事情によってはやむをえない」(38.2%)と「子どもの有無にかかわらず，事情によっては離婚もやむをえない」(37.5%)がともに4割弱の多数意見である。男女別にみると，「いったん結婚したら，いかなる理由があっても離婚すべきではない」(男性10.7%，女性5.3%)，「子どもがいれば離婚すべきではないが，いなければ，事情によってはやむをえない」(同41.8%，34.4%)は女性より男性に高く，「子どもの有無にかかわらず，事情によっては離婚もやむをえない」(同31.1%，44.2%)は男性より女性に高い。

前回調査と比べても変化はみられない。

各国比較でみると、日本と韓国は「子どもがいれば離婚すべきではないが、いなければ、事情によってはやむをえない」が他国と比べて高く、また韓国では「いったん結婚したら、いかなる理由があっても離婚すべきではない」(25.4%)も高い。スウェーデン、ドイツ、アメリカでは「互いに愛情がなくなれば、離婚すべきである」が高く、特にスウェーデン(46.9%)で最も高い。(図7-13)

図7-13 離婚観(各国比較)

